

愛知国際病院広報誌

みやまみやま

vol.86

特集 陰の主役

この人たちがいてこそ!

病院を支える、陰の主役

CROSS people

言語聴覚士×医師事務作業補助者

愛知国際病院で働く仲間たち

看護部(外来)



この人たちがいてこそ！ 病院を支える、陰の主役

医師や看護師にスポットが当たりがちの病院ですが、じつはさまざまな職種の人たちが病院を支えています。なくてはならない、愛知国際病院の「陰の主役」たちを紹介します。



診療情報
管理士

カルテの案内人



医療スタッフとのコミュニケーションも毎日の大切な業務です

カルテは患者さんの治療や経過などに加え、プライバシーに関わる内容も記録された重要なもの。その管理を任されているのが診療情報管理士です。記録内容に不備があれば医療スタッフに訂正や追記を依頼し、細部までチェックした後、たとえ10年後でも必要な情報をすぐ取り出せるように管理しています。昨年スタートした国立がん研究センターの「全国がん登録」の申請も行っていきます。大切な情報を扱っていることを念頭に、緊張感と責任感を持って仕事をしています。



鈴木 まこ

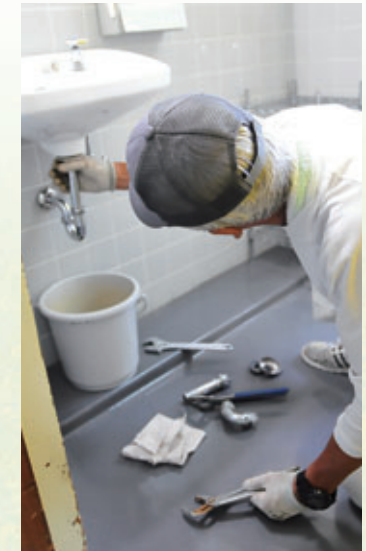
ひとこと

いつも丁寧な仕事をしてくれて感謝しています。蓄積されたデータは病院の運営にとっても役立っています。誰の字でも読み解けるあなたは天才です。
理事長 井手 宏より



用務員

保全是全て お任せ！



中央材料室
管理

日々、洗浄・滅菌



午前中は休む間もなく洗浄・滅菌作業に追われます

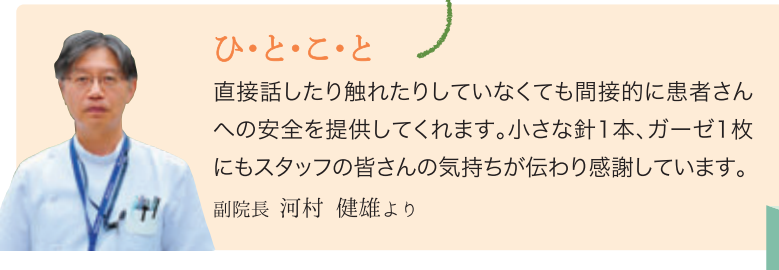


川邊 和代(左) 佐竹 圭子(右)

病院は感染予防のため、衛生管理が非常に重要です。そこで手術室に隣接する「中央材料室」では、手術や外来の処置に使う機器類、病棟や訪問看護で使用するチューブなど、洗浄・滅菌を毎日、徹底して行います。消耗品である衛生材料や物品は、欠品すると業務に支障が出るため、在庫管理も重要な仕事です。医師や看護師の皆さんが、安心して機器や物品を使えるよう、つねに丁寧で完璧な仕事を心がけています。



欠品が出ないように、
しっかり補充！



ひとこと

直接話したり触れたりしていなくても間接的に患者さんへの安全を提供してくれます。小さな針1本、ガーゼ1枚にもスタッフの皆さんの気持ちが伝わり感謝しています。
副院長 河村 健雄より



カルテを守るのが
私の役目！

患者さんも
安心だね

とても
助かってます



いつも
助かるわ〜



ひとこと

水野さんの登場以来、至るところが変化しています。しかも思いやりのこもった工夫と丁寧な仕上がり。急なSOSコールにも「は〜い、水野です！行きますよ」その声にいつも助けられています。

病棟師長 宮崎 里佳子より



水野 清二



掃除道具やネジ部品など、道具類を整理整頓し、3つの倉庫を管理



取手付きが
ポイント！

ポータブルトイレを運ぶ台車を制作！

させないこと。自分なりにいろいろな工夫して、いい仕上がりになったときはうれしいです。

医師との距離も近いので
気軽に質問したりして(笑)。



2008年入職。脳血管障害などの後遺症による失語症や嚥下訓練のほか、自閉症や発達障害の言葉のリハビリなど幅広く指導。



看護師として大学病院などに勤務。2014年、当院の医師事務作業補助者となる。訪問診察に関わる書類作成、訪問同行、電子カルテ入力などを行う。2児の母。

愛知国際病院って
アットホームな職場ですよ。

言語聴覚士 和田 真一

医師事務作業補助者 かかむ 各務 実千代

各務 言語聴覚士さんこそ、習得するべきことがとても多いそうですね。
和田 私がこの病院を希望したのは、入院や外来、ホスピス病棟、老人保健施設と、さまざまな環境で学べ

和田 医師の分身のような存在なんですね。やっぱりすごい。
各務 言語聴覚士さんこそ、習得する

和田 私がこの病院を希望したのは、入院や外来、ホスピス病棟、老人保健施設と、さまざまな環境で学べ

和田 医師の分身のような存在なんですね。やっぱりすごい。
各務 言語聴覚士さんこそ、習得する

和田 私がこの病院を希望したのは、入院や外来、ホスピス病棟、老人保健施設と、さまざまな環境で学べ

職種を越えた連携で
新しいことにも取り組みやすい

各務 より良い病院づくりのため、お互いに頑張りましょう。

和田 新しいことに前向きに取り組んでくれるので、こちらもモチベーションが上がります。

和田 新しいことに前向きに取り組んでくれるので、こちらもモチベーションが上がります。

各務 医師だけでなく、いろいろな職種の方とカンファレンスをする機会なども多くて、横のつながりとか連携が取りやすいのもいいですね。

和田 新しいことに前向きに取り組んでくれるので、こちらもモチベーションが上がります。



特集
陰の主役



医師事務
作業補助

医師の業務を
少しでも軽く

主な仕事は電子カルテの診療録等の入力、医療文書の作成などです。医師事務作業補助という職種は比較的新しく、医療の現場において、医師の業務の負担を少しでも軽減し、支援するため導入されました。診察がより丁寧にスムーズに行われるよう、つねに医師の意向をくみ取り、そのニーズにしっかりと応えたいという努力をしています。



スタッフ間での情報交換や勉強会も定期的に行っています。



病棟
クラーク

病棟に関わる方を
親身にサポート



患者さんの入院時、まず身長・体重を測定し、病室へご案内します。カルテ作成、検査室への搬送、窓口に来られた方の対応なども病棟クラークの仕事です。この職種について15年。幅広い年齢の方と接する日々は、気づきや学びが多く、ときには勇気づけられることもあります。



外来
クラーク

外来での
橋渡し役



多様な業務があり、状況に合わせて行動することを心がけています。計測や移動のお手伝い、検査の進行具合を看護師に伝えたり、空いた時間には備品の整理や書類作成なども行います。あつという間の1日ですが、通院中の患者さんの表情が明るくなっていくのが一番の励みです。



鈴木 久美子



柏本 清美

～ボランティアの皆さんにも支えられて20周年～

ボランティア
20th



ボランティア20周年会開催



9月16日(土)にボランティア20周年記念講演を開催し、有意義なひと時を過ごしました。

ボランティア
コーディネーター
東 のぞみ

院内で活動するボランティアは、昨年9月で結成20周年を迎えました。「愛知国際病院にホスピスを」という市民の願いの中からボランティアが生まれ、今日へと続いてきました。今はホスピスを中心に、環境整備や生花、縫い物などの活動を行っています。入院生活を安心して過ごしていただけるよう、少しでもお手伝いできれば、と思っております。そよ吹く風のように、さりげない優しさと心地よさを運ぶものでありたい、と願いつつこれからも活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



職場のこと
仕事のこと



手術前には念入りに打ち合わせを行います



「調理学士は何かをしますか？」



その日の出来事や課題などはつねに情報共有します

糖尿病の患者さんにはフットケアが大切です

看護部（外来）
帰宅後、安心して
ご自宅で生活できるように

外来は医師の診察や処置の介助、各種検査の介助、手術のサポート、緊急性の判断などが主な業務です。また、患者さんの診察前後の不安、治療後の苦痛を和らげたり、必要に応じて医師に報告したりと、患者さんと医師をつなぐ架け橋になることも重要な役目と考えています。

外来での看護は「その時」が勝負。患者さんの表情や言葉を読み取って、その場で判断し声をかけます。また、在宅での療養を支援する病院として院内外との連絡や調整を行い、帰宅後に患者さんがご自宅で安心して生活できることを大切に考えています。また、スタッフ同

士でも相手を思いやる気持ちを忘れず、笑顔でいきいきと働くことで、より良い職場づくりに取り組んでいます。患者さんのお顔から不安が少しでも軽減され、「この病院に来てよかった」と笑顔を見せていただけるよう、チーム一丸となつて頑張ります！



「キレカで患者さんをサポートします！」

インフォメーション
Information

愛知国際病院

「ホスピスつてなあに」
公開講座

昨年度好評だった一般の方を対象としたホスピス講座「ホスピスつてなあに」を今年も9月に開催しました。愛知国際病院のホスピス相談員や看護師が、ホスピスでの生活や緩和ケアについて、また費用や手続きについてもスライドを使ってご紹介。講座後は、ご希望の方に見学ツアーも行い、内容の濃い時間となりました。



参加者アンケートより抜粋

- 困ったときは安心して相談に来ます。
- 施設見学やビデオが大変わかりやすかった。

老人保健施設 愛泉館

在宅生活を支える
リハビリテーション会議

デイケアでは、医師や看護、介護、リハビリ等の専門職チームと、居宅ケアマネジャーや他のサービス事業所が連携し、利用者さんの疾患やご家族の介護方法等について共に考えるリハビリテーション会議を開催しています。また、リハビリスタッフ等がご自宅を訪問し、利用者さんの生活目標や将来像を見据えて、ご自宅で安全に過ごせるような住環境や動作、介護保険サービス等の提案をしています。



デイサービスご利用に関するお問い合わせ

【愛泉館 担当/長屋】 ☎0561-74-1711

AHI（アジア保健研修所）

講座＆相談会「遺言書の書き方」

好評の「遺言書の書き方」講座を11月に開催することとなりました。「遺言書」を書くことは、自分の人生を振り返り、この社会の中での自分を考えることでもあります。講師の平良一器（たいらかずき）さんは、元AHI職員で、今は司法書士として活躍中です。やさしい言葉で、「遺言書」の考え方や書き方をわかりやすく教えてもらいます。

「遺言書の書き方」【日時】2017年11月11日（土）10:00～12:00
講座 【講師】平良 一器（司法書士）【定員】20名

参加者アンケートより抜粋
2回目ですが、1回目よりイメージが深まり、具体的に書いてみようと思いました。
とてもわかりやすい例を出されて、楽しくお話しを伺うことができました。

相続登記 無料相談会 【日時】2017年11月18日（土）10:00～12:00
【定員】4組（一組:30分）※基本的な内容に関する相談会となります。

【場所】アジア保健研修所(AHI)
日進市米野木町南山987-30(愛知国際病院となり)
参加費 無料
お申し込みは、事前予約をお願いします(電話またはE-mail)
【担当/羽佐田】 ☎0561-73-1950 ✉ info@ahi-japan.jp

Q&A 医療福祉相談室

よくあるお問い合わせの一部をご紹介します。

Q 家の改修に介護保険が使えるって聞いたけど？
A 介護保険認定を受けている方対象で改修費の補助は一人一住宅につき支給限度額20万円でその1割(一定以上所得者は2割)が利用者負担となります。工事終了後一旦全額支払って後から払い戻しを受けます。詳しくは地域の包括支援センターやケアマネジャーもしくは病院のソーシャルワーカーにご相談ください。

Q 身寄りのない自分が入院することになったが、支払いや身の回りのことについて動いてくれる人がいない
A 家族代わりで動いてくれる身元保証代行業務の紹介もできます。お気軽にお尋ねください。

お問い合わせ 地域医療連携室 TEL 0561-73-9179 FAX 0561-58-2507 (担当/川口、宇田[うだ])
【時間】月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:30

糖尿病患者さんをサポート

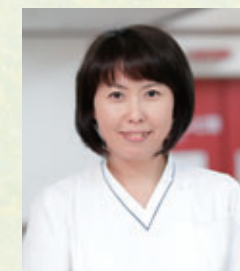
糖尿病の合併症が足に出て「どうしたらいいの」と涙を流される患者さんと出会い、何か力になればと「糖尿病療養指導士」の資格を取得しました。大切な足を守るように、糖尿病患者さんのサポートをしていきたいと思っています。

糖尿病療養指導士 高橋 あすか（副主任）

外来にはさまざまな資格を持ったスタッフがいます



- 糖尿病療養指導士(2名)
- フットケアの専門知識を身につけた看護師(2名)
- リウマチケア看護師(1名)



外来師長 岩本 佐美
2004年入職。子育てで忙しい時期は非常勤として働き、その後には常勤、2016年師長となる。2児の母。

East Favorite

名古屋から東へ
お気に入りをご紹介

愛知県日進市
パティスリー結 (ゆい)



オーナーの鈴木正寿さんと
奥さまの智美さん。

心ときめくフランス菓子
名鉄豊田線「米野木駅」から徒歩
約3分。静かな住宅地の一角、小高
い丘の上に、フランス・アルザス地
方を彷彿とさせる「軒家」パティス
リー結(ゆい)はあります。東京の
有名店で11年修業した鈴木正寿
さんが、2014年にオープンし
たフランス菓子の店で、口の中に感
動を呼ぶおいしさにファンはどん
どん広がっています。原乳からこ
だわり抜いた最高峰の生クリームや
発酵バター、フランス産チョコレ
トなど、素材を厳選。宝石のよう
に美しいケーキ、焼き菓子、ショ
コラがショーケースに並び、見てい
ただけで心ときめきます。ゆつたり
したカフェスペースも設けられ、香
り豊かなコーヒーと共にいただく
スイーツは格別の味。フランスのお
いしい時間をぜひ。

(左)「チョコレートの素
材は、追求するほど奥深
い」と鈴木さん。
(下)洗練と気品漂う
ケーキは常時10~12種
類、季節によって内容は
変わります。

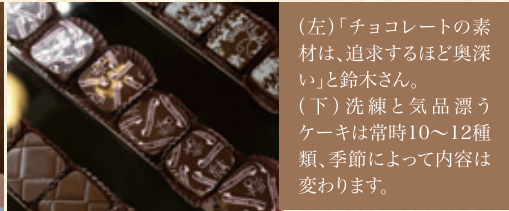
フランス産マロンクリームを使用した「モンブラン」、パッションフルーツのオレンジが目涼やかな
「おひさま」、バラのような「いちごのタルト」。



フランス菓子に欠かせない卵は、
地元の農家さんから直接取り寄
せています。



つい長居してしまいそうな居心地のいいカフェスペース。



「パティスリー結」には、人と人、人とケーキを結びたいという思いが込められています。

パティスリー結(ゆい)

【住所】愛知県日進市
米野木台1丁目807番地
【TEL】0561-73-8656
【営業時間】
10:00~19:30
(火曜、第3月曜休み)
【ホームページ】
<http://www.patisserie-yui.jp/>

賛助会員募集のお知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談
の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただ
いた方には年1回の「ホスピスだより」と年4回の「みなみやま」をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

郵便振替口座 00890-5-3757 口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会
一口 1,000円(おいくらでも結構ですが、できたら、5口以上をお願いいたします)

編集後記

みなみやまがカラーになって1年です。感じるのは、職員一人ひとりの信念ともいえる思いの強さ。鴨の水かきのような「苦勞」とは
いかないまでも、患者さんのために、共に働く仲間のために、知恵を絞り、見えないところでそっと手を差し出す姿をもっとうま
く伝えたい!と思います。号を重ねるごとに良くなっていく、と決意新たに取り組む次回は新年号です。どうぞお楽しみに。(諸石)

●これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

医療法人財団 愛泉会 〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31
愛知国際病院 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

愛知国際病院 広報誌「みなみやま86号」
発行日:2017年10月1日 発行人:太田信吉 編集発行:愛知国際病院内・病院だより委員会 編集長:近藤正嗣
※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



スマートフォンでも
ご覧いただけます

Cover Story

~受付~



患者さんが最初に立ち寄る
受付は、いわば病院の「顔」。
少しでも不安を取り除き、安心
して診察を受けていただける
よう、笑顔を大切にしています。